

# 未来へつなぐ ジェンダー平等◆伊賀プラン

～第5次伊賀市男女共同参画基本計画～  
概要版（2026～2031年度）



三重県 伊賀市

## <基本理念>

# 誰もが自分らしく生きる ジェンダー平等 伊賀の未来へ

## I ジェンダー平等実現に向けての意識づくりと教育の推進

- ①ジェンダー平等への意識づくり
- ②保育・学校教育・生涯学習でのジェンダー平等の推進

### 目 標

- ・「男は仕事、女は家庭・育児・介護」という考え方に否定的な考え方の市民の割合 80%(72.6%)
- ・家庭内で、「男女の地位が平等になっている」と思う市民の割合 50%(38.1%)
- ・職場内で、「男女の地位が平等になっている」と思う市民の割合 40%(29.9%)
- ・自治会・住民自治協議会などの地域活動の場で、「男女の地位が平等になっている」と思う市民の割合 30%(23.5%)

## II あらゆる分野でのジェンダー平等の推進

- ③政策・方針決定過程への女性の参画拡大
- ④働く場でのジェンダー平等の推進
- ⑤地域社会でのジェンダー平等の推進
- ⑥家庭生活でのジェンダー平等の推進

### 目 標

- ・市の審議会等への女性登用率 40%(29.2%)
- ・市の事業所への係長級以上の管理職のうち女性の占める割合 25%(18.5%)
- ・住民自治協議会運営委員の女性の参画率 30%(18.0%)

## III 個人の尊厳が守られ、安心して暮らせる社会の実現

- ⑦あらゆる暴力の根絶
- ⑧生涯を通じた心身の健康づくり
- ⑨さまざまな困難な問題への支援

### 目 標

- ・DVなどの被害を受けた際の相談先について、「相談窓口として知っているところはない」市民の割合 5%以下(10.6%)
- ・心とからだの健康のため必要だと思う取組の内、「性の多様性に対する理解を進める啓発、情報提供の推進」を選択する市民の割合 20%(14.4%)
- ・乳がん、子宮がんの検診の受診率 乳がん16%(13.8%)  
子宮がん13%(10.2%)

※( )は令和6年度の数値です。

## Ⅰ ジェンダー平等実現に向けての意識づくりと教育の推進

基本目標Ⅰでは、「男だから」「女だから」という無意識の思い込み（アンコンシャスバイアス）をなくし、誰もが自分らしく生きられる意識づくりを進めます。子どもの頃から多様性を尊重する心を育むほか、大人も生涯を通じて共に学び合える機会を広げます。

### 《市民の役割》

知識を深め、家庭の役割分担を話し合い、性別に基づく固定観念を身近な所から変える。

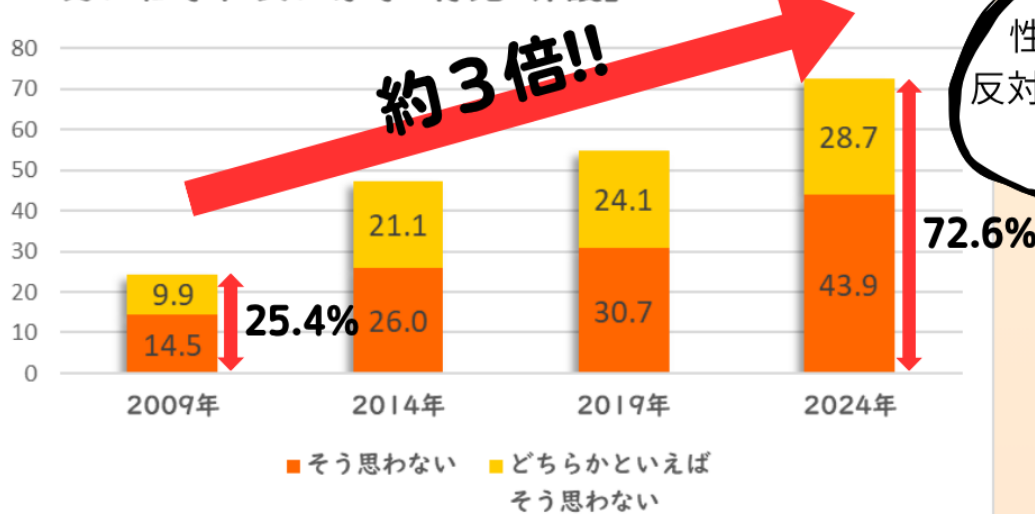
### 《事業所等の役割》

能力で公正に評価する制度や柔軟な働き方を導入し、誰もが働きやすい職場づくりを行う。

### 《地域の役割》

地域での情報共有や連携により、多世代への学習機会提供と意識向上を推進する。

#### 「男は仕事、女は家事・育児・介護」



性別による役割分担意識に反対する意見は15年で約3倍！  
7割を超えたよ！



1

あなたが、家庭・地域・職場で「男だから」「女だから」で決めてしまったことや、決められてしまったことをあげてください。

### ～用語解説：アンコンシャスバイアス～

アンコンシャスバイアスとは、自分では気づかないうちに持っている思い込みや先入観のことです。たとえば「女性は家庭を優先するもの」「男性は仕事中心であるべき」といった考えが、無意識のうちに言動や判断に影響を与えることがあります。こうしたバイアスは、自分自身の可能性や選択肢を狭める、周囲の人の生き方にも影響を及ぼします。まずは、自分の中にも「偏見があるかもしれない」と気づくことが大切です。

## II あらゆる分野でのジェンダー平等の推進

基本目標IIでは、社会のあらゆる場面で残る格差をなくし、誰もが自分らしく活躍できる環境を目指します。政治や職場、地域活動など、大切な方針を決める場に多様な視点が反映されるよう、女性の参画を広げていきます。また、働き方の見直しや家庭での協力体制を整え、家事・育児の偏りを解消することも大切な柱です。

### 《市民の役割》

理解を深め、地域の意思決定に協力し、性別を問わず仕事と家事・育児を分担する。

### 《事業所等の役割》

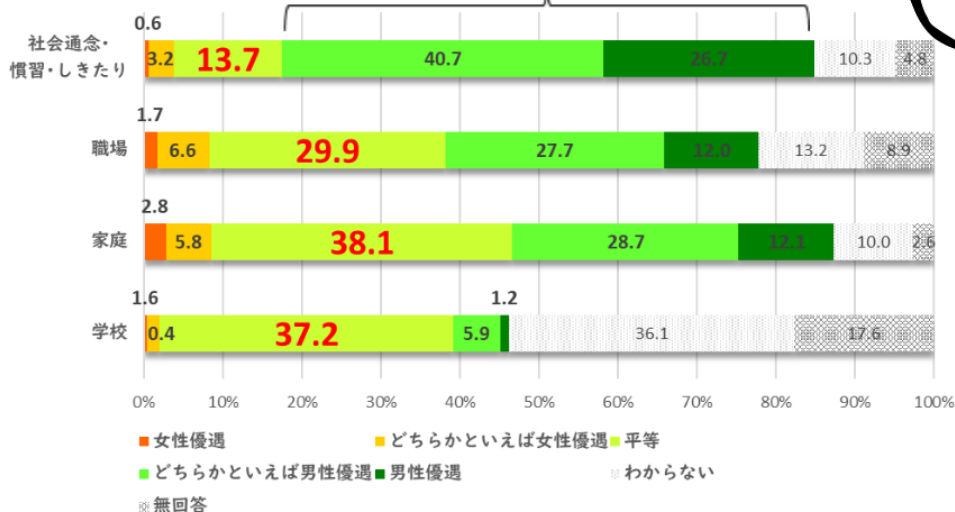
公正な評価と柔軟な働き方を導入し、性別を問わず仕事と家庭を両立できる環境を作る。

### 《地域の役割》

研修や対話を通じ、女性が地域の方針決定に参画できる環境や意識づくりを進める。

平等シフト！

【男女の平等感】



「社会通念・慣習・しきたり」では男性優遇と感じてる人が約7割いるよ。学校では「平等」の回答が多いし、未来は明るいね✨



### 2-1 あなたのまわりでは男性・女性どちらが担っていますか？

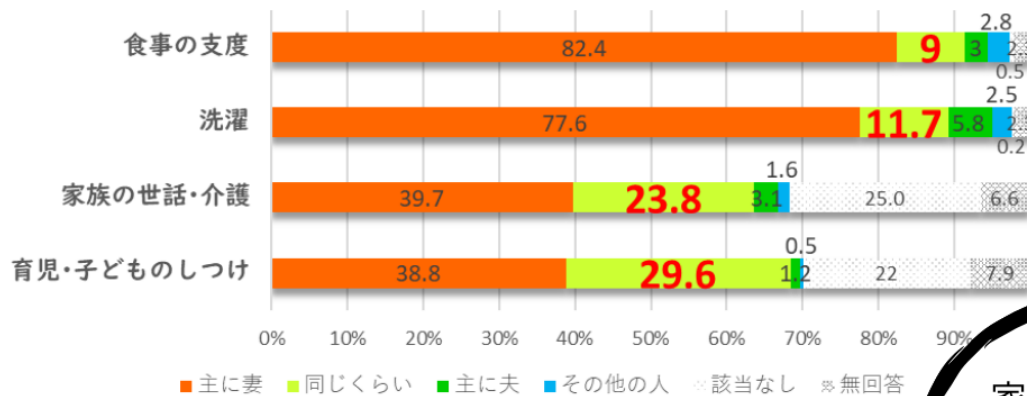
女性ばかり >> 女性が多め >> 同じくらい << 男性が多め << 男性ばかり

家事

地区の役員

職場の管理職

## 【家庭内の家事分担】



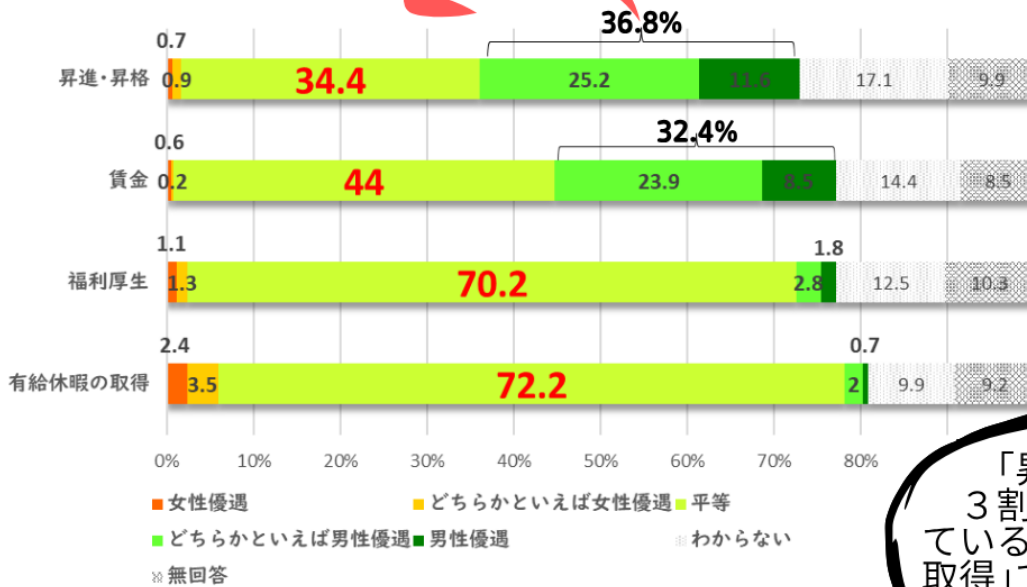
家事は妻が担っている家庭が多いよ。介護や育児は夫婦で分担している家庭も多くなっているね。



「昇進・昇格」「賃金」は3割強の人が男性優遇と感じているよ。「福利厚生」や「有給取得」では男女平等と感じている市民が約7割と進んできているね。

## 【職場での男女平等感】

平等シフト!



2-2 家庭・地域・職場での男女のかたよりをなくすには、どうすれば良いと思いますか？

### Ⅲ 個人の尊厳が守られ、安心して暮らせる社会の実現

基本目標Ⅲでは、すべての人が自分らしく、安心して暮らせる社会を目指します。DVやハラスメントといった暴力を許さない、そして根絶に向けた啓発や相談体制を充実させます。また、性の多様性への理解を深め、人生のあらゆるステージでの心身の健康づくりのサポートや、災害時や困難を抱えた時でも、誰一人取り残されないように取り組みます。

#### 《 女性のためのお悩み相談 》

◇伊賀市役所 こどもの育ち支援課

☎ 0595-22-9609

月～金・9:00～16:30

(祝日、年末年始除く)



◇三重県女性相談支援センター

☎ 059-231-5600

月火木金・9:00～17:00

水・9:00～20:00

(祝日、年末年始除く)



#### 《 女性・男性・性のありかた・DVなど 》

◇三重県男女共同参画センター

フレンテみえ

☎ 059-233-1133

火～日・9:00～12:00

火・金～日・13:00～15:30

木・17:00～19:00



#### 《 LGBTQ+に関する相談 》

◇伊賀市役所 人権政策課

☎ 0595-22-9650

月～金・9:00～16:30

(祝日、年末年始除く)



#### 《 生活支援相談 》

◇伊賀市役所 生活支援課

☎ 0595-22-9650

月～金・9:00～16:30

(祝日、年末年始除く)



お悩みごとはありませんか？  
気軽に相談してください。



3 ジェンダー平等に向けて“ちいさな一歩” 今日からあなたができることは？



未来へつなぐジェンダー平等◇伊賀プラン  
～第5次伊賀市男女共同参画基本計画～



📄 詳細はこちら

〒518-8501

伊賀市四十九町3184番地

伊賀市人権生活環境部 人権政策課 ジェンダー平等係

電話：0595-22-9632

FAX：0595-22-9641

E-mail：jinken-danjo@city.iga.lg.jp

※ ふわふわと咲く黄色いミモザの花は、3月8日「国際女性デー」のシンボルです。女性への感謝を伝えるとともに、「性別に関わらず誰もが自分らしく生きられる社会」を願う、あたたかいメッセージが込められています。

これまで伊賀市では、性別に関係なく誰もが自分らしく活躍できる社会をめざして取組を進めてきました。少しずつ意識は変わってきた一方で、性別による思い込みや役割分担は今も残っています。そこで第5次計画では、こうしたジェンダーギャップの解消に力を入れ、一人ひとりが個性や力を十分に発揮し、安心して自分らしい生き方を選べるまちをめざします。すべての市民が多様な幸せ（ウェルビーイング）を実感できる社会を築いていきます。

## 基本理念

「誰もが自分らしく生きる ジェンダー平等 伊賀の未来へ」



### ～用語説明：ジェンダー平等～

「ジェンダー」とは、社会的に形成された性別ごとの役割や価値観のことです。「男らしさ」「女らしさ」といった無意識の思い込みによる固定的役割分担や偏見を「ジェンダーギャップ」と呼び、今なお社会に深く根付いています。

「ジェンダー平等」は、このギャップが解消された状態であり、その推進とは無意識の偏見を改めて意識し、根本から解消していくことを指します。

また「男女共同参画」とは、男女平等を前提に、それぞれが個性に基づき能力を発揮できる機会を保障することです。ジェンダー平等の達成は社会の構造的な障壁を取り除くため、男女共同参画社会の実現へと直結します。